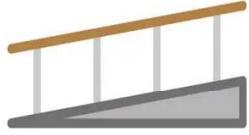




“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年11月③
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobb.jp



◆またひとつバリアをクリアしました

寺院は公益法人という枠組みの中にあります。公共性があり、広く開かれていることを求められます。施設の利用のしやすさは、基本的な充足用件といえ、いわゆるバリアフリーの取組は欠かせません。

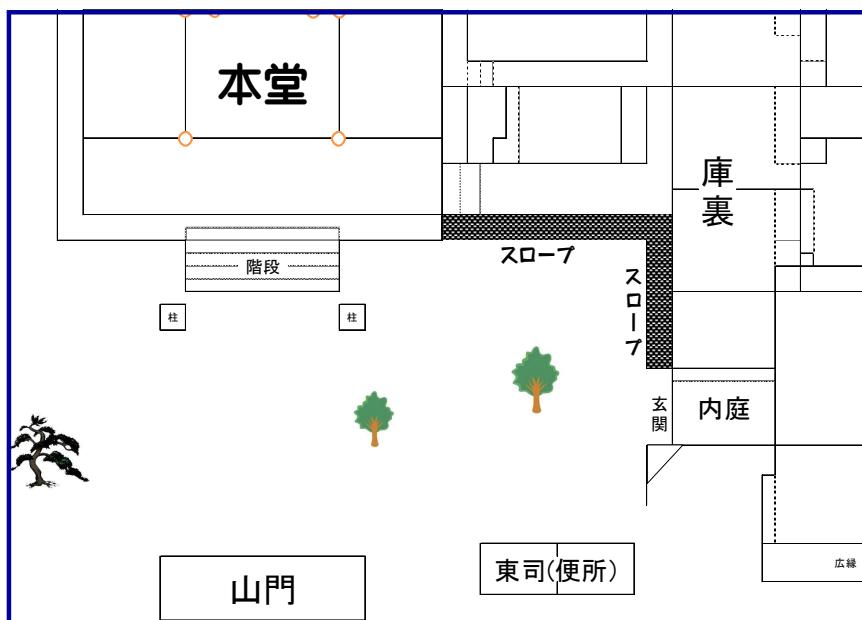
長安寺および崇山会では、これまで手すりの設置、トイレの洋式化、前庭歩行路の整備など、少しずつすすめてきました。

このたび本堂へ上がるためのスロープを設置していただきました。他の寺院の例ですが、スロープがあることで「本堂に上がれるなんて思ってもみなかつたのでとても嬉しい」という声をいただいたそうです。

曹洞宗では“みんなお寺に来てほしい”というポスターを作成し、「すべての人に健康と福祉を」という SDG's の目標の一つとしてバリアフリーの取組を進めると共に、各寺院での取組推進を求めていきます。



玄関脇からみたところ。手すりはスロープ部分だけ無く、本堂正面近くまで設置しています。車椅子でも上がることができます。



境内地西側から、本堂前庭(鐘楼堂前)まで車があがります。(ただし駐車場はないので一部の方に限られます。)

環境の中に生じるバリア(障壁)はまだまだありますが、今後も檀家の皆様が菩提寺に出かけやすくなるように崇山会でも検討いただき、整備を進めたいと思います。

